

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達・放課後児童デイ りあん		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や利用者の都合を優先した対応を心掛けている	急なキャンセルや急な追加の利用をなるべく受け入れる体制などに取り組んでいる	今後も保護者や利用者の急激な変更に対応出来るように取り組んでいきたい
2	りあんが楽しい所と思ってもらえるように支援方法等を心掛けている	児童一人一人の特性に応じた楽しみ方を模索しながら支援をしている	個々の楽しい時間を多く持てるようなプログラムを見つけて支援方法の改善を行っていきたい
3	地域社会での生活を継続してよけるように自立や自律を心掛けた支援を行っています	一人一人の自立や自律をサポート出来るような支援を心掛けています	相談支援専門員や学校との連携を密にし本人の自立や自律をサポートしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自閉症の児童が多く一人ひとりの特性に応じた学習面サポートに苦慮している	現在の支援学校や特別支援級、家庭との連携が不足している	特別支援級や支援学校、家庭との連携を充実させたい
2	利用者が全員での活動となると、子どもの実態が様々なので対応、実施が難しい時がある	活動参加希望者全員に対応して活動を実施しようとした場合、安全を考慮すると支援員の人員が不足してしまう。	子どもの実態に応じた活動プログラムをできるだけ多く用意して、子どもの活動が保証できるようにしていきたい
3	下校時間の関係で土曜日や祝祭日しか利用が出来ない	支援員や他の事業部での対応で平日も利用が出来ないか検討をする	相談支援専門員と相談しながら検討していきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達・放課後児童デイ りあん
------	------------------

公表日 2026年3月12日

利用児童数 2025年2月30日現在 22名

回収数 10/18

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	4	1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5	2	0	2	子どものことを考え寄り添って下さりとても良いと思っております	今後も子どもたちの最善の利益を一番に考えてまいります
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	1	3		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1	いつも相談をさせていただける環境で知識と経験豊富な先生方がサポートしてくださるのでとても有難いです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	0	1	皆様とても親切で優しくデイサービスがうちの子は大好きです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	いつもありがとうございます	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達・放課後児童デイ りあん		公表日		2026年3月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	平成8年度に事業所のスペースを拡大する様検討中です	スペースの拡大の必要性
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		利用者や支援員と共に掃除や整理整頓を心がけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4		スペースが狭く場所の確保が難しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		利用計画を遂行しながら本人の向上等色々な角度から本人にとって良い支援が受けられる様職員間で情報の共有をは図っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者とは連絡ノートを通じて意見交換をしていて必要性を感じた時は保護者との面談を通じて色々な事柄を解決できるように協力をしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		いつでも意見が伝えられるような環境を心がけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		相談支援専門院の意見を取り入れる事で相対的な業務進行を心がけている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		当該法人は様々な資格の保持者が居り法人内でする限り研修を行い必要時には外部研修を受けている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムは6か月ごとに見直しをしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者のニーズや利用者の課題は保護者との連絡ノートや利用者本人の客観的な分析しながら6ヶ月事計画を見直ししている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画を作成するときは全支援員にモニタリングを行い全員の意見を総合して計画を作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援員全員でモニタリングを行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		1年ごとにアセスメントを変更している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		当該法人は相談支援事業所も併設しているので相対的に考えを踏まえ計画を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		色々な意見を集約し立案をしている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		土曜日や学校休業日等長い時間の利用が可能な時等色々な行事を模様しながら支援が固定しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		本人の特徴を考慮しながら計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		利用者の支援開始までの時間を打ち合わせの時間とし皆で意見を交換し確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		職員ノート等を活用しみんなの意見を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		職員ノート等を活用しみんなの意見を基に検証や改善を心がけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6か月ごとにモニタリングを行い計画を見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		支援計画はガイドラインを意識し作成をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		利用者の意見を尊重しながら保護者の意見も取り入れた支援方法を取り入れている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		当該法人は相談支援事業所も併設しているので相談支援専門員と共に色々な会議に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		相談支援専門員と共に色々な関係者と連携を取っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		相談支援専門員と共に学校や施設と連携を取っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		適切に情報の交換をしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		アセスメントなど情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		療育相談センターの担当者と連携を密にしている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	偶に公園で子どもと活動ができる時はある	中々難しいが交流の機会が作れるようにしたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		当該法人の理事長や相談支援専門員は会員です	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡ノートを活用し保護者との共有を測っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		連絡ノートを活用し保護者に様々な情報を提供している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		入社時に運営規定を提示している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		利用者の意見を尊重しながら保護者の意見も取り入れた計画書の立案をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		計画書を提示しながら確認をしてもらい同意をもらっている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		連絡ノートを活用し保護者に様々な相談の助言をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		当該法人は父母の会等は考えていないがこれからは必要な支援なのか考慮する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		管理者や理事長が苦情など適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的にりあん通信を発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報は十分に気を付けるようにしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		わかりやすい方法で情報の伝達を心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		何かしらのイベントを考慮している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		閲覧ができるように色々なマニュアルを作成し家族や支援者と共有ができるようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画は計画に沿って行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		アセスメントや保護者との面談の中で確認をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アセスメントや保護者との面談の中で確認をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		マニュアルが作成してありマニュアルに沿って支援をしている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		色々な角度から安全の確保を図れるように取り組み家族と共有している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		マニュアルが作成してありマニュアルに沿って取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		マニュアルが作成してありマニュアルに沿って取り組んでいる	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		サービス利用計画書を説明する時に保護者に説明し了解を得サインをもらっている		